Cominix

平成28年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月９日

上 場 会 社 名　大阪工機株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3173　ＵＲＬ　http://www.osk-k.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）柳川　重昌
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長兼経理部長（氏名）南　雄治　（TEL）06(6765)8201
四半期報告書提出予定日　平成27年11月９日　配当支払開始予定日　平成27年12月３日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（　機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．平成28年３月期第２四半期の連結業績（平成27年４月１日～平成27年９月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
28年３月期第２四半期	10,452	9.9	348	0.8	332	△6.7	181	△18.3
27年３月期第２四半期	9,509	－	346	－	356	－	221	－

（注）包括利益　28年３月期第２四半期　191百万円（3.9％）　27年３月期第２四半期　183百万円（－）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年３月期第２四半期	52.76	－
27年３月期第２四半期	64.58	－

（注）28年３月期第１四半期連結会計期間より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、27年３月期第２四半期について、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。またこれに伴い、27年３月期第２四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
28年３月期第２四半期	12,435	4,419	35.3
27年３月期	12,562	4,267	33.8

（参考）自己資本　28年３月期第２四半期　4,394百万円　27年３月期　4,245百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年３月期	－	11.50	－	11.50	23.00
28年３月期	－	20.00			
28年３月期(予想)			－	12.50	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

※当社は、平成28年１月１日を効力発生日として、１株につき２株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成28年３月期（予想）の１株当たりの期末配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお株式分割を考慮しない場合の平成28年３月期（予想）の１株当たりの期末配当金は25円、通期合計は45円であり、本日開示しております「配当方針の変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」に記載の通りであります。

３．平成28年３月期の連結業績予想（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	22,690	14.4	912	36.2	910	27.7	517	35.2	75.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

27年３月期の財務数値について遡及適用を行っているため、対前期増減率は遡及適用後の数値に基づいて算定しております。

※当社は、平成28年１月１日を効力発生日として、１株につき２株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成28年３月期の連結業績予想における１株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお株式分割を考慮しない場合の通期の１株当たり当期純利益は150円64銭であるため、前回開示資料から実質的な変更はございません。

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：有
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年３月期２Ｑ	3,434,420株	27年３月期	3,434,420株
② 期末自己株式数	28年３月期２Ｑ	81株	27年３月期	65株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年３月期２Ｑ	3,434,346株	27年３月期２Ｑ	3,434,355株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
・なお、当社は、平成28年１月１日を効力発生日として、１株につき２株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成28年３月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割考慮後の期中平均株式数6,868,710株に基づき算出しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
(1)　経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・４
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・５
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・５
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・５
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・５
(4)　追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・８
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・10
(4)　四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・11
（継続企業の前提に関する注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・11
（セグメント情報等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
（重要な後発事象）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成27年４月１日～平成27年９月30日）における我が国経済は、円安局面の定着や政府・日銀の各種政策等により企業収益の改善基調が継続する一方で、中国における製造業と輸出、不動産業の不振を主要因とした経済減速やその他新興国の経済減速を受けて輸出が低調になったこと等が反映され国内総生産（ＧＤＰ）の2015年度の実質成長率見通しが１％を下回る等、景気の下振れリスクに注視を要する状況であります。

このような環境の中、当社グループは国内におきましては、引き続き生産性向上に向けたコスト削減の提案営業による拡販活動を行ってまいりました。また、海外におきましては、中国の連結子会社である中阪貿易（上海）有限公司が新たに武漢に事務所を開設する等、新規顧客の発掘や積極的な拡販活動に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は10,452,561千円（前年同四半期比9.9％増）、営業利益は348,811千円（前年同四半期比0.8％増）、経常利益は332,691千円（前年同四半期比6.7％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は181,210千円（前年同四半期比18.3％減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期数値について遡及適用後の数値に基づき算出しております。

①切削工具事業

切削工具事業につきましては、主要販売先である自動車業界向けの販売が好調であったことや、営業所及び出張所の拠点拡充による顧客の増加等により、売上高及びセグメント利益は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は6,865,774千円（前年同四半期比10.3％増）、セグメント利益は158,082千円（前年同四半期比21.4％増）となりました。

②耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、主要販売先である飲料容器メーカー向けの設備の販売が前年同四半期と比較して減少したため、売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,257,467千円（前年同四半期比12.1％減）、セグメント利益は121,013千円（前年同四半期比26.2％減）となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、メキシコの連結子会社において自動車業界向けの販売が好調であったこと等により、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,851,049千円（前年同四半期比28.8%増）、セグメント利益は53,871千円（前年同四半期比61.5%増）となりました。

④光製品事業

光製品事業につきましては、外観検査装置業界向けの販売が好調であったこと等により売上高は前年同期四半期と比較して増加しましたが、人員増加に伴う販管費増の影響によりセグメント利益は前年同期と比較して減少いたしました。

この結果、売上高は478,269千円（前年同四半期比14.0%増）、セグメント利益は20,530千円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

(2)　財政状態に関する説明

（総資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて146,244千円減少し、10,103,868千円となりました。これは、商品が127,324千円、現金及び預金が29,742千円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて19,957千円増加し、2,332,022千円となりました。これは、主に無形固定資産のその他が31,743千円、投資その他の資産が20,095千円それぞれ増加した一方で、のれんの償却によりのれんが30,193千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて126,286千円減少し、12,435,891千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて455,635千円減少し、6,815,470千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が433,897千円、短期借入金が28,108千円それぞれ減少したことなどに対し、１年内返済予定の長期借入金が72,428千円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて177,717千円増加し、1,200,884千円となりました。これは主に、長期借入金が146,744千円増加したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて277,918千円減少し、8,016,354千円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて151,631千円増加し、4,419,537千円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により181,210千円増加した一方で、配当金の支払いにより39,495千円減少したことや、為替換算調整勘定が25,494千円増加したことなどによります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,252,773千円（前年同四半期比6.8％増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、96,114千円（前年同期は297,183千円の使用）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益332,691千円、たな卸資産の減少額130,353千円、のれん償却額30,193千円、減価償却費29,074千円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額436,010千円、売上債権の増加額9,320千円、法人税等の支払額181,610千円などであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、89,541千円（前年同期は54,070千円の使用）となりました。

これは、新基幹システム構築費などによる有形固定資産の取得による支出24,253千円及び無形固定資産の取得による支出37,302千円、保険積立金の積立てによる支出17,347千円などであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、150,054千円（前年同期は427,483千円の獲得）となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入400,000千円などであり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出180,752千円、配当金の支払額39,284千円などであります。

(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年３月期の業績予想につきましては、平成27年５月12日に公表いたしました数値から変更はありません。

当社は、平成28年１月１日を効力発生日として、１株につき２株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成28年３月期通期の連結業績予想における１株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。詳細は、本日公表いたしました配当方針の変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」及び「株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更等）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日）等を、第１四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－２項（４）、連結会計基準第44－５項（４）及び事業分離等会計基準57－４（４）に定める経過的な取扱いに従っており、第１四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、第２四半期連結累計期間において、損益に与える影響額はありません。

（在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更）

在外子会社の収益及び費用は、従来、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第１四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、在外子会社の収益及び費用の重要性が増し、かつ、近年の為替相場の変動も大きいことから、為替相場の変動が連結財務諸表に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第２四半期連結累計期間の売上高は22,205千円、売上総利益は5,197千円、営業利益は2,542千円、経常利益は2,482千円、税金等調整前四半期純利益は2,482千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,902千円それぞれ増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は16,114千円減少し、為替換算調整勘定の前期首残高は同額増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(4)　追加情報

当社が加入していた「大阪機械工具商厚生年金基金」は、平成27年７月14日付代議員会で解散の決議をし、平成27年８月20日付で厚生労働大臣の解散認可を受け、同日をもって解散しております。解散認可時の保有資産は最低責任準備金を上回っており、解散に伴う事業主の損失負担の発生は見込まれません。

３．四半期連結財務諸表

(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,346,208	1,316,465
受取手形及び売掛金	4,438,712	4,453,018
商品	3,999,574	3,872,250
その他	495,379	499,718
貸倒引当金	△29,762	△37,583
流動資産合計	10,250,113	10,103,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	333,822	322,994
土地	1,027,019	1,027,019
その他（純額）	94,352	103,493
有形固定資産合計	1,455,194	1,453,507
無形固定資産		
のれん	206,553	176,360
その他	76,190	107,933
無形固定資産合計	282,743	284,293
投資その他の資産		
その他	606,493	617,846
貸倒引当金	△32,367	△23,624
投資その他の資産合計	574,126	594,221
固定資産合計	2,312,065	2,332,022
資産合計	12,562,178	12,435,891
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,580,964	4,147,067
短期借入金	1,748,068	1,719,960
1年内返済予定の長期借入金	328,470	400,898
未払法人税等	167,379	150,349
賞与引当金	159,548	153,665
役員賞与引当金	28,045	14,998
その他	258,630	228,532
流動負債合計	7,271,105	6,815,470
固定負債		
長期借入金	682,881	829,625
役員退職慰労引当金	150,445	158,588
退職給付に係る負債	176,493	202,244
その他	13,346	10,425
固定負債合計	1,023,167	1,200,884
負債合計	8,294,272	8,016,354

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	3,323,321	3,465,036
自己株式	△36	△65
株主資本合計	4,003,680	4,145,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,157	31,645
為替換算調整勘定	192,157	217,652
その他の包括利益累計額合計	242,314	249,298
非支配株主持分	21,910	24,871
純資産合計	4,267,905	4,419,537
負債純資産合計	12,562,178	12,435,891

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
売上高	9,509,920	10,452,561
売上原価	7,600,543	8,386,195
売上総利益	1,909,377	2,066,366
販売費及び一般管理費	1,563,346	1,717,554
営業利益	346,030	348,811
営業外収益		
受取利息	542	874
受取配当金	751	1,614
仕入割引	29,061	26,447
為替差益	5,751	－
その他	6,593	3,097
営業外収益合計	42,700	32,033
営業外費用		
支払利息	9,479	10,346
売上割引	13,206	14,689
為替差損	－	15,098
その他	9,448	8,017
営業外費用合計	32,134	48,152
経常利益	356,596	332,691
特別利益		
保険解約返戻金	8,584	－
特別利益合計	8,584	－
税金等調整前四半期純利益	365,181	332,691
法人税、住民税及び事業税	147,344	161,602
法人税等調整額	△4,687	△15,194
法人税等合計	142,657	146,407
四半期純利益	222,524	186,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	716	5,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	221,808	181,210

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
四半期純利益	222,524	186,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,551	△18,511
為替換算調整勘定	△50,115	23,382
その他の包括利益合計	△38,564	4,870
四半期包括利益	183,959	191,155
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,605	188,193
非支配株主に係る四半期包括利益	354	2,961

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	365,181	332,691
減価償却費	33,106	29,074
のれん償却額	30,193	30,193
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,005	△921
賞与引当金の増減額（△は減少）	△139	△5,883
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△8,690	△13,047
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	27,783	25,751
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△5,010	8,143
受取利息及び受取配当金	△1,294	△2,488
支払利息	9,479	10,346
為替差損益（△は益）	△7,338	14,843
売上債権の増減額（△は増加）	△131,801	△9,320
たな卸資産の増減額（△は増加）	△88,460	130,353
仕入債務の増減額（△は減少）	△293,212	△436,010
その他	△10,244	△21,191
小計	△79,441	92,534
利息及び配当金の受取額	1,059	2,488
利息の支払額	△9,866	△9,526
法人税等の支払額	△208,934	△181,610
営業活動によるキャッシュ・フロー	△297,183	△96,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,993	△24,253
有形固定資産の売却による収入	3,189	2,613
無形固定資産の取得による支出	△3,559	△37,302
定期預金の預入れによる支出	△3,356	△3,306
投資有価証券の取得による支出	△5,027	△5,654
保険積立金の積立による支出	△16,272	△17,347
保険積立金の解約による収入	9,255	654
その他	△5,306	△4,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,070	△89,541
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	439,428	△28,108
長期借入れによる収入	212,600	400,000
長期借入金の返済による支出	△187,278	△180,752
配当金の支払額	△37,262	△39,284
その他	△3	△1,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	427,483	150,054
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,129	2,552
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	60,100	△33,048
現金及び現金同等物の期首残高	1,112,987	1,285,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,173,087	1,252,773

(4)　四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成26年４月１日　至　平成26年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	6,223,496	1,429,831	1,437,062	419,529	9,509,920	－	9,509,920
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	15,626	－	15,626	△15,626	－
計	6,223,496	1,429,831	1,452,689	419,529	9,525,547	△15,626	9,509,920
セグメント利益	130,258	163,956	33,355	20,764	348,334	△2,303	346,030

（注）１　セグメント利益の調整額△2,303千円は、セグメント間取引消去によるものであります。
２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成27年４月１日　至　平成27年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	6,865,774	1,257,467	1,851,049	478,269	10,452,561	－	10,452,561
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,091	－	11,417	－	20,508	△20,508	－
計	6,874,865	1,257,467	1,862,466	478,269	10,473,069	△20,508	10,452,561
セグメント利益	158,082	121,013	53,871	20,530	353,497	△4,686	348,811

（注）１　セグメント利益の調整額△4,686千円は、セグメント間取引消去によるものであります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

（在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更）

「会計方針の変更」に記載のとおり、在外子会社の収益及び費用は、従来、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第１四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べ、前第２四半期連結累計期間の「海外事業セグメント」の売上高は22,205千円、セグメント利益は2,542千円それぞれ増加しております。

（重要な後発事象）

（株式分割及び定款の一部変更）

当社は、平成27年11月９日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を決議いたしました。

１．株式分割及び定款の一部変更の目的

当社株式の流動性を高めて、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的とするものです。

２．株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成27年12月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、１株につき２株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	3,434,420株
今回の分割により増加する株式数	3,434,420株
株式分割後の発行済株式総数	6,868,840株
株式分割後の発行可能株式総数	9,600,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	平成27年12月15日
基準日	平成27年12月31日
効力発生日	平成28年１月１日

なお、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の、前第２四半期連結累計期間及び当第２四半期連結累計期間における１株当たり情報は以下のとおりです。

項目	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
１株当たり四半期純利益金額（円）	32円29銭	26円38銭

(注)潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。